

第12卷

昭和三年七年度

才一團評議員會議事録

財団法人

日本常民文化研究所

Handwritten text in vertical columns, including names like 石田大一郎 and 小川...

Handwritten text in vertical columns, including names like 石田大一郎 and 小川...

財団法人 日本常民文化研究所



第一回評議員會議事録
昭和三十一年六月一日

日本東京及大阪府事務所

昭和三十一年度
第一回評議員會議事録

一日時 昭和三十一年五月十九日（午前十一時）開會

二場所 港区芝三田綱所十番地 波沃邸

三出席者 評議員 磯貝 勇 評議員 石田英一郎

市川信次	評議員	澤田川清吉
岡田正樹	評議員	小川 徹
小宮山茂夫	評議員	小井川菊次郎
坂本嘉一郎	評議員	澤田四郎作
鈴木 敏	評議員	浦田 吉
田中喜多美	評議員	奈良環之助

記)の再任を承認したと認めしと提議し承した。全
員異議なく承した。

理事 有賀喜友衛門、宇野脩平、梅西光連
村田勝徳、竹内利美、羽原又吉

監事 遠藤 武、長谷川重三郎、山際正道

以上で評業を全部終了し、午後正午議長兼用会を
宣した。

昭和三年五月三日

櫻田勝徳

議長 長谷川重三郎
署名人 宮本常一

署名人 山田明男



日本常任委員所
梅田 五入

大(一)回理事會報告書
昭和三十一年五月

昭和三十一年五月十九日(日)午後一時、理事會開會
 場所 港區芝田調所(十番地) 議長 梅田 五入
 出席者 理事 有賀喜吉、折田 三郎、理事 宇野 修平
 (一) 月報 梅田 五入、理事 折田 三郎、理事 宇野 修平
 (二) 月報 折田 三郎、理事 宇野 修平、理事 有賀喜吉
 (三) 月報 有賀喜吉、理事 宇野 修平、理事 折田 三郎
 (四) 議事要領 一、理事會報告書、二、理事會報告書、三、理事會報告書
 梅田 五入 議長となり、開會を宣し、出席者は足
 敷に達した旨を報告し、(一) 議事録署名及び有賀

喜久衛門、宮本馨太郎、西理華、指名、議事録
入る、昭和三十七年度事業報告及び決算に関する件
◎ 議案第一号

昭和三十七年度事業報告及び決算に関する件
議長、事業の概要および決算についての報告をなし、これに
ついて承認を求めたところ、全員異議なく承認した。

◎ 議案第二号
昭和三十八年度事業計画並びに予算案に関する件
議長、三十八年度については、この予算はまた「研究所」活動

一日、給巻物における市民生活文化の研究の成果を
発行可能な取りまとめの段階に入りたい旨をわかり、
全員異議なくこれを承認した。

以上で議案を全部終了し、午後二時議長閉会を
宣した。

昭和三十八年五月二十日

議長

櫻田勝徳



以上

署名人

有賀喜久衛門



署名人

宮本馨太郎



13

第10.
第13.

昭和二十八年
第一回評議員會議事録

一日時 昭和二十八年四月二十日
在東京市千代田区
日本常民文化研究所

出席者
伊豆川 武吉
市川 信九
小島 山左木
藤 兼一郎
財団法人
日本常民文化研究所

昭和二十八年四月二十日
第一回評議員會議事録

出席者
伊豆川 武吉
市川 信九
小島 山左木
藤 兼一郎
財団法人
日本常民文化研究所

議事録
第一回評議員會議事録
昭和二十八年四月二十日
在東京市千代田区
日本常民文化研究所



517

大一個評議員會辦事錄
昭和三十一年八月

敬啟者
日本常任委員會辦事錄

昭和三十一年度
大一個評議員會辦事錄

一日時 昭和三十一年十一月二十三日 午後一時 東京市會

二場所 港区芝三田新町十番地 荒沢邸

出席者 評議員 磯貝 勇 評議員 市川 信太郎

伊豆川 浅吉 同 三 三 雄

小川 徹 小宮山 若木

小井川 菊次郎 坂 嘉一郎

澤手 田四郎 鈴木 醇

田中 喜多美 奈良 環之助

撤部 三 橋 祝 喜 辭



桜田課長より、本研究所の実質的なる主任者たる
 あつた故志次敬三先生の御遺言により、遺言執行人
 のあふ令息雅英氏から、東京都港区三田綱所十番
 地の八の宅地四一五・四七坪及び同十一番地の宅地一九六
 四三坪、同十一番地の建物及び付属建物、家屋番
 号一八番の三、木造匝能メッキ銅板葺平家建の
 木造瓦葺平家居宅一四四・三〇坪の物産を研
 究所に寄附せられたる旨の申し入れが、長年の報告を
 受し、研究所としてはその遺贈を承受けしことなるを
 證實せられたる、全頁異議なきに承認し、その
 在りし土地の一部に於ては、向連道路の建設計
 画中であり、道路公団の買収地たることは遺贈の計
 画に合致するものなるが、その坪数が明確とな

評議員
 藤永元非 評議員 松井佳洋
 宮本 禎 宮本吉中
 山和雄 山田明男
 吉田三郎
 理事 桜田勝徳 小島山本
 田川幸次 斗三三石村
 四評事要録
 二 櫻田理事長談話とより、開会を告げ、出席者名録
 報に達したる旨を報告し、及び評事録要者名録に
 一日、櫻田理事長、山田明男、雨氏を招き、評事に入
 り。

◎ 議案未決一考の旨を報告
 昭中故志次敬三先生より、土地遺贈に関する件

日本書院
徳田誠人

大正十一年度
第一回臨時總會議事録
昭和二十八年四月

昭和二十八年年度
第一回臨時總會議事録

一日時 昭和二十八年十二月二十二日 午後一時半開会

二場所 港区芝三田綱町十番地 浪沢邸

三出席者 理事 有賀喜吉衛門 理事 宇野脩平
楯西光速 桜田勝徳
内利美 羽原又吉

四議事要領 計七名

格田理事長議長となり、開会を宣し、全員出席。
有賀報告、臨時總會議事録署名人名に有賀喜吉衛門



宮本敬書(前)理事を指し、議事録に於て宮本氏の内
 ◎ 議案第一号 故志沢敬三先生より土地遺贈に関する件
 榎田議長より、本研究所の美術的なる主宰者であ
 り、故志沢敬三先生の御遺言により、遺言執
 行人である令息雅英氏から、東京都港区三田綱町
 三番地、八、宅地四一五、四七坪及び同十一番地の宅
 地一九、四三坪、同十一番地、建物及び附属建
 物、家屋番号一三八番、三、(木造二階×半銅板
 葺平屋建)及び本造瓦葺平家居室(四四三坪
 の物権を研究所に譲り附けたいとの申し入れがあつ
 たとの報告をなし、研究所としてはその遺贈を
 承継受けることとを提案したところ、全員異議なく

これを承認した。

たし、右の土地の一部については、向速道路の建設計
 画中であり、道路公団の買収地については遺贈の
 対象に含められていないのであるが、その坪数が明確
 でないが、取り敢えず全部について移転登記をする
 こととし、買収坪数が明確になり次第その部分の
 移転登記も抹消することとする。

なお、土地遺贈に関する登記手續関係事務につ
 いては、公認会計士宮坂保清氏に委任し、たくま
 ちのいることとを付記した。全員の異議なくこれを
 承認した。

以上の議案を全部終了し、午後二時半、議長用会を
 宣した。

以上



Blank page with faint vertical lines and a large, illegible stamp in the center.

昭和三十三年三月二十三日
 東京市
 議事長
櫻田勝徳
 有賀喜丸閣下
宮本馨太郎
 東京市議事長
 櫻田勝徳
 有賀喜丸閣下
 宮本馨太郎

